

えびなっ子 ニュース 通信

- 発行 -
よしのり
わたべ美憲後援会
海老名市中央3-3-13・1102
TEL:046-235-6908
E-mail:watabe@juno.dti.ne.jp
平成15年 8月25日発行

いあいさつ

海老名市議会議員 渡部 美憲



こんにちは。わたべ美憲です。まもなく1期目の任期を終えようとして

かすことは、思いつきや、権限でできることではありませぬ。いくつもの大きな壁にぶつかりながら一歩ずつ着実に歩んでまいりました。この4年間に築いた実績、知識、経験、人脈を基盤にこれからさらに大きくはばたいてまいります。

平成14年 9月定例会 一般質問

行政の体質を質す

14年9月定例会では過去取り上げた「ユニバーサルデザイン指針」「生活安全条例の制定」を再度取り上げ、一向に進まない原因の中に行政の体質が原因であることを質しています。

期限意識が足りない

過去の一般質問において、取り組んでいく方向性を示しておきながら、進んでいるように感じられないのは、諸々の要因があるからばかりではなく、期限意識をもっと取り組む姿勢が足りないからであることを指摘

「今後前向きに」とか「検討します」という言葉は「やりませぬ」と言っているのと同じであると市民から酷評を受けま



誰もやらないってこと?

「全庁的な取り組みで」と加わると、今のままで

海老名駅周辺事業について

海老名駅駅舎部への自由通路計画について

鉄道にかかるとされるもの「時代の流れにあわせて変化するもの」「時代の流れから見てその役割を終えたもの」「そして一番大切なものは、将来を見通し今やるもの」「それも、今やらなければ将来できなくなるよう求めています。

中央三丁目方面への自由通路を推進

進行管理が甘い

この計画は近隣住民や商業者からの要望、「誰も歩きたくない街えびな」をコンセプトにしている駅周辺の回避



県道による歩行動線の分断により危険な横断があとをたたないダイエー前付近

性・安全性の確保の観点から、必要性和事業推進を提案してまいりました。

この計画と同時期に民間高層マンションが建設されていることから、この民間開発とあえて歩調

再度提案。中部地区公園

市役所西側に計画している中部地区公園整備の推進を提案しました。



防災機能をもった中部地区公園構想がある市役所西側

を合わせることにより行政負担の軽減を図れること、また機を逸すれば、直近居住者優先の考えから、新たな課題が発生し、事業実現が難しくなることを示し、事業促進を提唱しました。

最近ではさがみ縦貫道や河川改修の代替移転者等の住宅が増加していることもあり、計画の促進を求めています。

また、この公園は中部地区市役所周辺の公園事業としてではなく駅周辺の防災対策としても早期実現を求めました。

三三三公募債の発行を

三三三公募債は、市の財政対策、単なる資金調達手段のみならず、市民の海老名への愛着と関心を高め、市政への参加意識を高める効果があると考えられます。

厳しい財政下にあるものも財政状況は未だ健全の域にあり、他の市町村よりデフォルトリスク（債権不履行リスク）も低いと想定されることから、市民のペイオフ対策の一環として、高齢者の資金

市役所正面ATM機前にひさしを



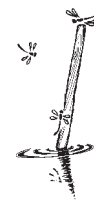
ひさし設置を要望した市役所前ATM

庁舎東側にある金融機関のATM機は、意外にも多くの人が利用し、雨天、炎天下の中、何人も行列が出来ています。書類を抱えながら、小さいお子さん連れながらここに並んでいる姿をみると

忍びないものがあります。ここに雨や直射日光を凌げるひさしをつけるよう提案しています。

金融機関負担が厳しくれば、資料の軽減を視野に入れるなど予算ねん出の検討を求めました。

このような小さな気づきも身近な行政への第一歩であると感じています。



平成15年3月定例会一般質問

自立に向けて

亀井市政の「目に見えない実績」を高く評価しています。目に見えない実績とは何か？それは地方分権に対応するために進めてきた「行政改革」「意識改革」による「行政の自立」に向けた礎です。「行政が変われば海老名が変わる」は私の持論であり、毎回のよう一般質問の場でも質問、提案してまいりました。ここ一二年を見て、一部の職員の中には間違いなく将来の海老名が必要とする感性を持った職員が芽生えてきています。そこで、今回は、これからの行政運営に大切な考え方のひとつである、「自立に向けて」をテーマに質問しています。

保全として、さらには縦貫道等の移転に伴い、資金管理を必要としている

グラウンドデザインと財政ストック

「自立」という視点から考えるならば、20年30年という超長期事業のためには財政の対応も今のうちから取り入れるべきではないかと考えます。

地方分権という方向だけは確かですが、その中身や国県の地方自治体への財源・権限委譲や補助対象施策は現状において不確定なものといわざるを得ません。

そこで将来海老名に必要な事業は、自ら主導で対応していこうという準備が必要です。

「金」と言う考えではなく「超長期事業準備金」といった視点での「超長期ビジョン」にあわせた財政「ストック」を次世代のため準備をすべきであることを提案しています。



第4次行政改革大綱の課題

第4次行政改革大綱は、過去の大綱と違い、客観的な視点、行政のあるべき方向への新しい理論展開や感性など評価すべき点が盛り込まれています。

しかし、行政担当が作成した構想をどのように全職員に共有させるのか。現況との違いを認識しなければ、いつまでたっても現状に甘え、改革には結びつかないというところ。

企画と財政の連携強化を

「自立」をしくために「海老名発」の「オリワン」のビジョンをいかに組み立てていくかが重要である。

そのためには政策、企画立案能力が、他の自治体並みではできません。さらに今後は財政見直し

と。などの課題を提示し、対応を求めました。

や景気動向分析の重要性市民サービスを的確に判断する事務事業評価制度の導入なども視野に入れると、「企画と財政」の連携が重要である。そこで「企画財政部」の創設や「政策調査担当」の設置を提案しています。

「自立」するためには、あらゆる広い角度から広い視野での発想を持つ必要があります。そのためには日常における「部」を超えた情報交換、地域を越えた情報収集を行い、幅広い考え方を身に付ける事が大切であり、さらに全国市町村のさきあげとなるような一歩進んだ考え方を全国に発信していくことが必要です。たとえば・・・

先進市として国に提言

発信1
～鉄道事業者への補助対策～

高度成長とともに国は郊外型、ロードサイド型市街地形成を推進してきましたが、昨今は不況の影響もあり、従来の中心市街地の活性化に方向転換しています。

その対策の中で、重要な力ぎを握るのが「鉄道や駅」いわゆる鉄道事業者です。

しかし鉄道事業者は、その負担額は極めてわずかで、各所の視察の結果からも、海老名市の協関係は全国的にみても良好な調整が取れている方であり、地方の市町村は、自己負担が当市以上に、その財政に大きな負担を与えています。そこで国の対策として、駅周辺の活性化を図る施策を自治体を取り組む場合は、国から鉄道事業者に対し「地域活性化協力金」なるものを直接支援

できないものが、先進市の経験として国に検討するよう働きかけるとともに、そのリーダーシップを我が海老名市が担うぐらゐの力強い発想が必要

発信2

地の利を活かし県へ提言
～障害者スポーツセンター誘致～

高齢者の新たな社会進出が始まっているのと同様、今や障害者も社会的活躍を担うチャンスが広がってきています。

世界的イベントとなったパラリンピックに見るように、障害者スポーツはその裾野を広げること

に大きな貢献をしています。そこで我が海老名市が県内にはない「障害者スポーツセンター」の必要性をいち早く提案し、誘致

「自立」に向けての課題について

常に次の展開を視野に

本市も行政改革、市民参加に向けて取り組んでいます。物事が比較的順調に進んでいると、ついつい現状に集中してしまふと同時に、自らの進め方への疑問や他の進め方への関心を持たなくなつてしまいがちです。

自立をしていくためには常に先々の理論や施策展開にも目を光らせていかなければいけません。

行政に求められるスピードとは

そこで行政改革理論として全国ほとんどの自治体を取り組んでいるNPM（ニュー パブリック マネジメント）と言う手法のみならずPPP（パ

すべてのことにおける重要な課題は、「スピード」です。「スピードアップ」こそ、市民が求める行政への第一のニーズです。多岐にわたる行政業務は、市民をはじめ、相手あつての業務であり、そのために一定の時間を要する事は当然の事です。

しかし、「そう簡単にスピードアップは図れない」と妥協するのではなく、「時間短縮」だけではなく、「来期または将来のための仕事や業務を、いかに同時にこなせるか」という視点が重要であることを指摘しています。

次のステップに向け、同時に取り組んでいる業



公園遊具の安全対策にチップ材を

全国的に相次ぐ事故の影響もあつて、公園の安全性が注目されています。遊具自体の安全性の確保もさることながら、遊具の下や、その周辺への

弾力材の敷き詰めが安全性の確保につながるの見解が出ています。



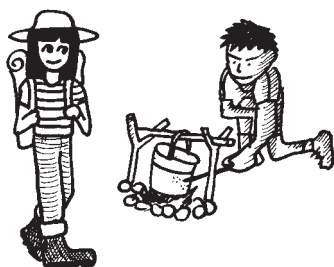
安全性アップのために チップ材を敷きつめた遊具

そこで本市もその一環として草木の葉や剪定材を弾力材として敷き詰め、安全性の確保を提案しました。また、すでに地域などに管理委託している公園などでは、草刈あとの草の敷き詰めを協力依頼することに、労力も費用も節減できることを提案しています。

地域とのひびきあう教育のきっかけは

我が子が、富士ふれあいの森でのキャンプの際に、薪の焚き付け用として割り箸を持つてくるように言われました。

割り箸は我が家でもありましたが、あえて知り合いの飲食店に頼んだところ、快く引き受けていただき、使用済みの割り箸を3本以上も洗ってとっておいでくれました。



恥かしがら我が子に全部持たせたことを例に挙げ、未使用の割り箸を持たせるのではなく、少し大人が汗をかけば、地域とひびきあう教育の糸口をつくることも、こどもに物を大切にすることも教えられるのです。

このようにひびきあう教育のきっかけは身近にあるという認識をもち拡大を図ることが大切であると指摘しました。

一般質問への主張一覽

平成15年3月定例会

- 第4次行政改革大綱の課題について
- 行革大綱の職員の共有について
- 客観的視点と現状との乖離について
- 市民へのアピールについて
- 超長期事業に対する資金ストックとグラウンドデザインについて
- 組織について
- 企画財政の強化連携
- 企画財務部の創設
- 政策調査担当の設置

- 海老名発の発想が出来るような情報交換の必要性について
- 協働の取り組みかたについて
- 将来を目標とした理論展開
- PPP理論
- 行政のスピードアップについて
- 公園遊具の安全対策、チップ、剪定材のしきつめ
- ひびきあう教育の考え方

平成14年9月定例会

- ユニバーサルデザインと生活安全条例の進捗
- 行政の資質的、機構的課題の有無について
- 進行管理について
- 議会への対応について
- 安心安全なまちづくりの捉え方について
- 海老名駅周辺開発について
- 駅舎部の進捗について
- 自由通路(中央三丁目方面)の計画について
- 中部地区公園の進捗について
- ミニ公募債の発行について
- 庁舎東側ATM機について

- 行政の資質的、機構的課題の有無について
- 進行管理について
- 議会への対応について
- 安心安全なまちづくりの捉え方について
- 海老名駅周辺開発について
- 駅舎部の進捗について
- 自由通路(中央三丁目方面)の計画について
- 中部地区公園の進捗について
- ミニ公募債の発行について
- 庁舎東側ATM機について

平成14年3月定例会

- 人づくり・協働への取り組みと課題について
- 新年度からの機構改革における対応は
- 人づくりのため役職定年制度をどう活用するかの
- 職員の専門性向上について
- 自治会の意義の見直しと行政支援について
- PTAの活用と取り組みについて
- 地域の縦割り体制について
- 市内企業との協働の在り方について

平成13年9月定例会

- 機構改革の推進速度について
- 市長の政治判断体制について
- 公務員改革制度対応について
- 海老名駅前開発について
- 駅前開発における中間評価について
- 防犯・防災について
- 海老名駅前開発に伴う防災対策について
- 警察との連携と(仮称)生活安全条例の制定について
- 防災掲示板について

平成12年12月定例会

- 健康と福祉について
- 35歳時人間ドックの導入について
- 介護保険全額徴収に伴う対応について(6段階方式の導入)
- 改選2年目の重点項目について
- 平成13年度予算編成について
- 予算編成方針について
- 予算編成の考え方について
- 市民参加条例、市民活動支援条例について
- 庁内協議の進捗について
- 制定目標時期について
- ゴミ減量化における剪定材の堆肥化について
- 庁内検討における進捗と今後の進行計画について
- NPOの活用、PFI事業としての取組みについて
- 駅前開発について
- 市民サービスセンターの構想について
- 工事着工における行政指導ならびに交通規制について
- 市営住宅について
- 市営住宅に対する基本的考え方について
- 市営住宅管理計画の見直しについて

平成12年6月定例会

- 健康と福祉について
- 35歳時人間ドックの導入について
- 介護保険全額徴収に伴う対応について(6段階方式の導入)
- 改選2年目の重点項目について
- 平成13年度予算編成について
- 予算編成方針について
- 予算編成の考え方について
- 市民参加条例、市民活動支援条例について
- 庁内協議の進捗について
- 制定目標時期について
- ゴミ減量化における剪定材の堆肥化について
- 庁内検討における進捗と今後の進行計画について
- NPOの活用、PFI事業としての取組みについて
- 駅前開発について
- 市民サービスセンターの構想について
- 工事着工における行政指導ならびに交通規制について
- 市営住宅について
- 市営住宅に対する基本的考え方について
- 市営住宅管理計画の見直しについて

平成11年12月定例会

- 健康と福祉について
- 35歳時人間ドックの導入について
- 介護保険全額徴収に伴う対応について(6段階方式の導入)
- 改選2年目の重点項目について
- 平成13年度予算編成について
- 予算編成方針について
- 予算編成の考え方について
- 市民参加条例、市民活動支援条例について
- 庁内協議の進捗について
- 制定目標時期について
- ゴミ減量化における剪定材の堆肥化について
- 庁内検討における進捗と今後の進行計画について
- NPOの活用、PFI事業としての取組みについて
- 駅前開発について
- 市民サービスセンターの構想について
- 工事着工における行政指導ならびに交通規制について
- 市営住宅について
- 市営住宅に対する基本的考え方について
- 市営住宅管理計画の見直しについて

4号5号に内容が記載されています。お手元がない方はご連絡下さい。



- 「ビジネスとしての意識改善について
- 市民への行政からの積極的姿勢について
- 市民参加による行政改革懇談会の開催について
- 若手職員による行政改革委員会の設置について
- 市民参加型市政の現況について
- 地域における世代交代、ふれあい、コミュニケーション不足について
- の行政認識について
- 市民参加のための行政努力の必要性
- 市民参加活性化の検討について
- 海老名駅周辺および市役所周辺開発について
- 治安、風紀、景観に対する行政的指導について
- 市街化調整区域のまちづくり構想について
- 市役所西側催事広場の有効利用について

事務所開設のお知らせ

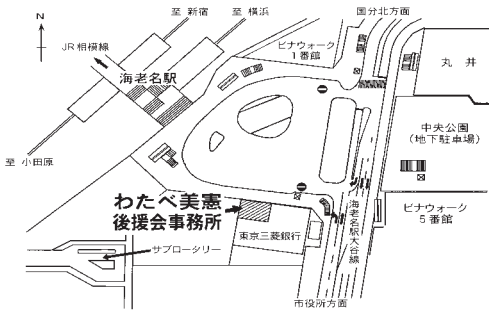
わたべ美憲後援会では、後援会事務所を開設いたします。お誘い合わせの上、ぜひお立ち寄りください。

住所：海老名市中央1-3-7
(東京三菱銀行隣)

電話：046-234-9302

開設予定：9月上旬

(駐車場がございません。恐れ入りますが市営駐車場もしくは近隣駐車場をご利用ください。)



事務所お手伝いのボランティアを募集しております。短い時間でも結構ですので是非お願い致します。